

ちば



交通安全

思いやり交通千葉

県内の交通事故

発生件数	6,850件 (-2件)
死者数	60人 (-16件)
負傷者数	8,327人 (+39件)

死者全国ワースト1位
令和元年5月末(前年比)

5月末の確定値です。速報値については、千葉県警ホームページにて公表しています。

第169号

発行：千葉県環境生活部くらし安全推進課

電話 043(223)2263

FAX 043(221)2969

歩行者保護は全てのドライバーの義務

歩行者を守る気づかい思いやり



夏の交通安全運動

令和元年

7月10日(水)～19日(金)

シンガーソングライター：奥藤子

千葉県マスコットキャラクター：ちばん

千葉県・千葉県交通安全対策推進委員会

令和元年 夏の交通安全運動が始まります

夏休み時期は、日常生活からの解放感などから、道路利用者は普段よりも集中力や安全意識が低下しがちとなる上、行楽シーズンとなり、県外から当県に訪れる観光客などで、交通量の増加が予想され、思わぬ交通事故の発生が懸念されます。また、依然として、高齢者が歩行中に被害に遭う事故が後を絶たない状況が続いています。

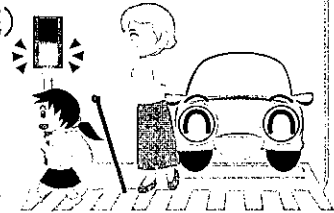
そこで、行楽シーズンを目前に控えたこの時期に、交通安全教育や広報・啓発活動を集中的に展開することにより、県民一人ひとりに交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付け、交通事故防止の徹底を図ることを目的に実施します。

実施期間 令和元年7月10日(水)から7月19日(金)まで

スローガン ～ 歩行者を 守る気づかい 思いやり ～

運動の 重点目標

- ① 子供と高齢者の交通事故防止
- ② 自転車の安全利用の推進(特に、ちばサイクルールの周知徹底)
- ③ 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ④ 飲酒運転の根絶



ゼブラ・ストップ活動

ゼブラ・ストップ活動とは、横断歩道の和製英語であるゼブラゾーンの「ゼブラ」にかけて、「前方」・「ブレーキ」・「ライト」(3(サン)・ライト)をドライバーに強く意識してもらい、横断歩道手前での確実な「ストップ(一時停止)」を徹底することにより、横断歩道上の歩行者を保護することを目的とした活動です。車を運転するときは、「ゼブラ・ストップ活動」を実践し、交通事故をストップしましょう。

「前方」をよく見て運転、横断歩道に十分注意



横断歩道の手前では、「ブレーキ」操作で安全確認



「前方」

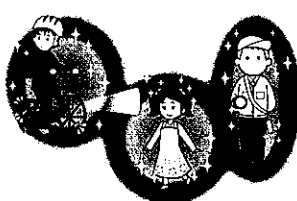
「ブレーキ」

「ライト」

横断歩道でも3(サン)・「ライト」で交通事故防止



車の「ライト」早めの点灯、小まめな切り替えで横断者を早期発見



横断者も反射材等で「ライト」アップ



「ライト」(右)からの横断者にも注意

横断する歩行者がいたら... 交通事故...



子供と高齢者の交通事故防止

子供の交通事故防止

小学生の歩行中の交通事故の分析結果によると、

- 小学校1年生が60人と最も多い(死傷者数) ● 登下校時間帯に多発
- 飛び出しが最も多いなどの特徴が認められたところです。

子供の交通事故を防止するためには、児童に対する交通安全教育のみならず、その保護者やドライバーの皆さんも交通事故原因などについて理解を深めていただき、交通ルールの遵守と正しい交通マナーを実践していただく必要があります。

「ドライバー」の方へお願いします!

- 飛び出しによる交通事故が多発しています。学校付近、住宅街、通学路などの標識があるところでは左右の安全確認をしっかりとって運転してください。
- 子供は無理に道路を横断しようとする場合があります。子供が独り歩きしている場合は徐行か一時停止し安全に通れるようにしてください。

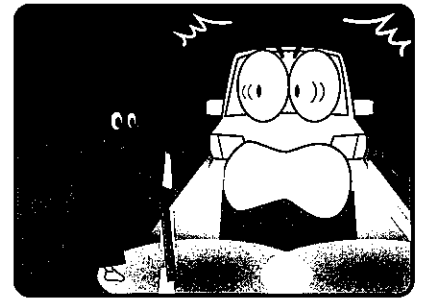
「保護者」の方へお願いします!

- 道路に出る時は、突然飛び出さないよう「止まる・見る・待つ」を繰り返し教えてください。
- 道路を横断する時は、左右をよく見て安全を確かめてから、横断を始め、横断中も車に気を付けるよう、繰り返し教えてください。

高齢者の交通事故防止

判断能力や視力など心身機能は年を重ねるごとに低下します。交通事故に遭わない、起さないよう、安全確認を十分に行いましょう。

- 車を運転する時は車間距離を十分とって慎重な運転を心がけましょう。
- 交差点では安全確認を忘れずに行いましょう。
- 体調不良を感じた時は、運転を控えることも大切です。
- 信号が変わりそうな時は、次の青信号まで1回待ちましょう。
- 運転に不安を感じている方は、運転免許の自主返納を考えましょう。
- 徒歩で外出する際は、遠回りでも信号機のある場所や横断歩道を渡りましょう。
- 夕方から明け方に外出する際は、反射材の着用や、明るい服装で出かけ、ドライバーに自分の存在を知らせましょう。



ちばサイクルール

自転車を利用する方は「ちばサイクルール」を意識し、交通事故を防ぎましょう。

自転車に乗る前のルール

- ① 自転車保険に入ろう
- ② 点検整備をしよう
- ③ 反射器材を付けよう
- ④ ヘルメットをかぶろう
- ⑤ 飲酒運転はやめよう

自転車に乗るときのルール

- ① 車道の左側を走ろう
- ② 歩いている人を優先しよう
- ③ ながら運転はやめよう
- ④ 交差点では安全確認しよう
- ⑤ 夕方からライトをつけよう



詳細は「ちばサイクルール」で検索

ちばサイクルール

検索

※このルールは、内閣府の「自転車安全利用五則」をもとに、「千葉県自転車条例」の内容を取り入れて制定しました。

飲酒運転は絶対に「しない!」「させない!」「許さない!」

飲酒運転による重大事故が後を絶ちません。飲酒運転は運転者本人、車やお酒の提供者、同乗者が厳しく罰せられるだけでなく、被害者やその家族の人生を大きく狂わせる結果につながります。

飲酒運転は絶対に「しない!」「させない!」「許さない!」を徹底し、飲酒運転の根絶を図りましょう。

飲酒運転をなくすための3つの約束

約束1 お酒を飲んだら運転しない

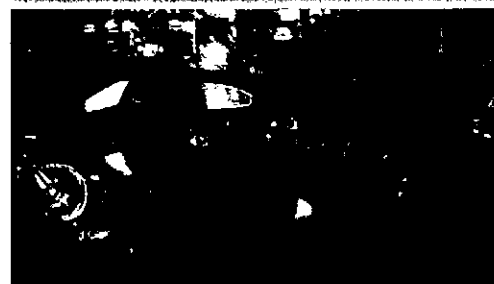
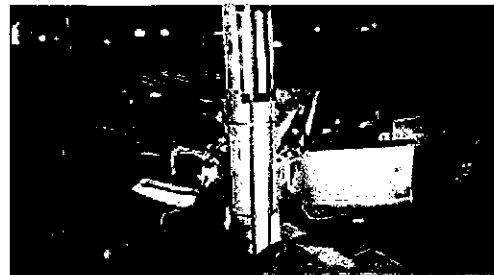
お酒を飲んだら、公共交通機関や運転代行を利用すること。また、飲酒運転を避けるために飲食店に車でいかないなどの対策をしましょう。

約束2 運転する人にはお酒を飲ませない

運転するおそれがある人にはお酒を勧めたり、飲ませたりしないこと。

約束3 お酒を飲んだ人には運転させない

飲酒した人には絶対に運転させないこと。飲酒運転の車に同乗しないこと。飲食店側では飲酒運転防止のため、帰りの交通手段を確認するなどの対策を。



出展：政府広報オンライン

幼児交通安全教育セミナー参加者を募集します!

幼児交通安全教育を充実させ、幼児の関係する交通事故を防止し、幼児の交通安全教育指導者を育成するための実践的、専門的な研修を実施します。

日時

令和元年7月26日(金) 13時～(受付12:30～)

会場

千葉県教育会館本館大ホール 千葉市中央区中央4-13-10

講演

幼児の交通安全を考える ―幼児への過大評価と過少評価―

定員

400人

内容

講義1：幼児の特性と交通安全指導のポイントについて

講義2：誰でもできる!!「3分間交通安全教室」のやり方

事例発表(平成30年度交通安全モデル園)

習志野市立秋津保育所・市川市立信篤幼稚園

問い合わせ先

県くらし安全推進課 交通安全対策室

TEL 043(223)2263

◎交通事故の相談

交通事故の当事者となり、お困りの方はご相談ください。

臨床心理士による心のケアも行っています。県内各市町の巡回相談も行っていますので、日程等はお問い合わせください。

なお、くらし安全推進課ホームページで巡回相談日程や交通事故Q&Aをご案内しています。

千葉県交通事故相談所



問い合わせ先

○本所…県庁本庁舎2階 TEL 043-223-2264

○東葛飾支所…東葛飾合同庁舎4階 TEL 047-368-8000

○安房支所…安房合同庁舎1階 TEL 0470-22-7132

◎千葉県交通安全教育推進員の派遣

学校、町内会、職員研修などで交通安全教室を開く際にご活用ください。対象者に合わせて経験豊富な推進員を派遣いたします。(講師料は無料ですが、講師の交通費等の実費分は負担願います。)

◎交通安全ビデオの貸出

交通安全教育に役立てていただくために、交通安全ビデオ(DVD・VHS)の貸出を行っています。

ビデオ一覧は、くらし安全推進課ホームページをご覧ください。

千葉県交通安全ライブラリー



問い合わせ先

千葉県環境生活部

くらし安全推進課 交通安全対策室 TEL 043-223-2263